

再処理工場のしゅん工に向けた進捗状況（2025 年 8 月 5 日時点）

再処理工場の設工認の説明、検査、保安規定、工事の各項目における計画に対する状況は以下の通りです。

項目	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
(1) 設工認の説明	第2回設工認			しゅん工	凡例 計画 実施
(2) 検査	使用前事業者検査、使用前確認			ガラス溶融炉検査 重大事故等対処訓練	
(3) 保安規定					
(4) 工事	新設設備と既設設備の連結工事 安全性向上対策工事			海洋放出管切離し工事	
操業運転			溶液・廃液処理運転開始	せん断開始	操業

設工認の説明（説明の全体計画はこちら）

- 8 月 5 日の審査会合において、耐震設計は、地震応答解析結果、部材評価結果を説明しました。構造設計等は、防護対象・設計対象施設の特定、基本的な設計の考え方および設計プロセス、具体的な設計および評価を説明しました。審査会合の中で、規制委員からは「技術者の設計、運転等に対する理解向上を図って審査会合でしっかりと技術的議論ができるよう準備すること」との発言をいただきました。
- 11 月までに説明を終えるために、ステアリングチームを中心に、しっかりと技術的議論ができるよう準備を進めてまいります。

項目		ステータス	2024年度												2025年度											
			～7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
耐震設計	建物・構築物	① 入力地震動の算定	説明完了												①入力地震動の算定 ①											
		②-1 基本ルール	説明完了												②-1基本ルール ②-1											
		②-2 詳細ルール（地震応答解析）	説明完了												②-2詳細ルール（地震応答解析） ②-2											
		②-3 詳細ルール（部材評価）	説明完了												②-3詳細ルール（部材評価） ②-3											
		③ 地震応答解析結果	説明実施 62/62施設＊ （8月5日説明実施 16/62施設） ＊9月以降コメント対応を実施予定												③地震応答解析結果 ③											
	④ 部材評価結果	説明実施 35/66施設 （8月5日説明実施 24/66施設）												④部材評価結果 ④												
	機器・配管系	① 防護対象・設計対象施設の特定 基本的な設計の考え方および設計プロセスの説明	説明実施												①防護対象・設計対象施設の特定、基本的な設計の考え方および設計プロセスの説明 ①											
		②-1 設計プロセスに基づく具体的な設計	【機器系】 説明実施 2,612/4,751機器 説明実施 12,578/12,578区間 説明実施 136/136弁												②-1設計プロセスに基づく具体的な設計 ②-1											
		②-2 評価（解析）の結果	【機器系】 説明実施 14/4,751機器 説明実施 6/12,578区間 説明実施 2/136弁												②-2評価（解析）の結果 ②-2											
		① 防護対象・設計対象施設の特定 基本的な設計の考え方および設計プロセスの説明	説明実施 27/31条文 （8月5日説明実施 2/31条文※2）												①防護対象・設計対象施設の特定、基本的な設計の考え方および設計プロセスの説明 ①											
② 設計プロセスに基づく具体的な設計および評価		説明実施 14/42条文 （8月5日説明実施 2/42条文※3）												②設計プロセスに基づく具体的な設計および評価 ②												

凡例

計画 ※1

説明実施

8月5日説明範囲

※1 8 月 5 日審査会合で提示した全体計画を反映

※2 第八条 外部からの衝撃による損傷の防止（その他）、第十二条 再処理施設内における溢水による損傷の防止

※3 第十一条/第三十五条 火災等による損傷の防止、第四十八条 制御室

（1）検査

- 着手可能な範囲から使用前事業者検査を実施中です。
- 現在、計画通りに進捗しています。

（2）保安規定

- 変更申請の準備中であり、内容がまとも次第、変更申請予定です。

（3）工事

- 竜巻対策、火災対策、重大事故等対策に関する設備の設計の見直しを検討・実施中です。
- 現在、計画通りに進捗しています。